

## 1 はじめに

本校では、生徒会スローガンは「前例にとらわれず新たな発想を」である。例年通りにはできない中で、全校生徒の意見を取り入れようとアンケートを行ったり、何度も協議を重ねたりしたことで、コロナ禍の状況下での活動充実を図った。

## 2 実践事例

### (1) 生徒総会

5月に行われた生徒総会では、学校生活改善のために、全クラス同じ議題「黙働清掃への取組」について話し合いを行った。議題は、事前アンケートから生徒の意見を集約し決定した。限られた時間であったが、活発な意見交換の場となり、各生徒が黙働清掃の意識を高められるよいきっかけを与える場となった。各クラスで話し合った内容は、後日生徒会だよりで全体共有を図った。



### (2) 生徒会だよりや掲示物の充実

生徒会で行った活動については、さらに全生徒に知ってもらうためにと生徒会だよりの発行をしている。クラス紹介や文化祭に向けたイベントの紹介、生徒会役員選挙速報など、中央委員から必要に応じた情報を全校生徒に提供する場となっている。また、生徒アンケートの結果や行事の感想などを校内に掲示し、より多くの生徒の声を可視化している。



### (3) リモートによる生徒会役員選挙立合演説会

生徒会役員選挙において、コロナ対策のため、平常時に実施していた立ち合い演説会ができないことから、Teams のテレビ会議を活用し、リモートによる演説会を実施した。選挙当日に向けて、顔写真付きのポスターの掲示、生徒会だよりの発行、屋外や放送での広報活動など、コロナ対策をしながら選挙活動を行った。また、5年前から公職選挙で実際に使われている投票箱や記載台を活用し、18歳投票を意識した取組を行っている。



## 3 成果と課題

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動に制限があり、全校生徒が集まって活動する場が非常に少なくなりました。その状況下で、昨年の実践を生かし、どのように代替可能なのかを考え、生徒の思いを形にできたことはよい経験であり、大きな成果だと感じる。特に、文化祭や生徒会役員選挙では、リモート開催にしたことで、その場に全員集まらずとも、生徒の活動の様子や思いを多くの人に伝えることができたのではないかと思います。今後の生徒会活動や学校行事においても、適宜リモートを活用することの有効性を感じた。